



「小樽の芸術文化の振興に役立ちたい」と意気込む前小樽市副市長の上林猛さん（左から2人目）らOPPGの本部員

## 小樽の芸術文化 広く支援

# 市民有志が団体結成

### 小樽プロモーショングループ(OPPG)

小樽ゆかりのシンガー・ソングライターあがた森魚さんが、小樽を舞台に撮影しているドキュメンタリー映画「佐藤敬子先生を探して」の制作に関わってきた市民有志らが、広く小樽の芸術文化を支援する団体「小樽プロモーショングループ(OPPG)」を結成した。活動の第1弾は同映画の上映活動の支援。OPPG本部長は前副市長の上林猛さんで「小樽に息づく歴史と文化の伝承、芸術の振興に役立ちたい」と意気込んでいる。

(渡辺佐保子)

### あがた森魚さんの映画

## 公開に向けPR

OPPGは現在、運営を担ってきたメンバーが中心で、本部員の7人で構成。同映画完成後も小樽で活動する映画の撮影・収録に協力し、芸術文化の担い手を支援

しようという思いで一致し、1日に立ち上げた。地道に活動する個人や小さな団体のサポートを想定しているという。

同映画はあがたさんが小学3年生の途中まで通っていた市立入船小(2018

年3月末閉校)で影響を受けた担任の佐藤敬子先生(故人)との思い出やエピソードを紹介している。全編小樽が舞台となっており、地元の人や情景も多く登場。3月に完成予定だが公開時期などは未定。OPPGは公開時にプロモーション活動などを支援することになっている。

OPPGは今後、ともに活動するサポート会員や協賛団体・会員を募る。3月8日にはサポート会員の発足を開くほか、同20日にはあがたさんが小樽でライブを開くのに合わせて交流会も予定している。問い合わせは事務局長の熊谷敬子さん ☎080・4045・1461へ。

※上林氏は本学の経営協議会委員です。